



宗像高 世界大会出場生徒が市長を表敬訪問

電気物理部「ロボカップ世界大会」出場激励セレモニー 同日開催

県立宗像高等学校電気物理部「宗高イーゼス」の生徒4人が、5月30日（金）宗像市長を表敬訪問し、ブラジルで行われる「ロボカップ 2025 サルヴァドール世界大会」への出場を報告します。

ロボカップは、自律移動型ロボットによる競技会であり、「2050年までにサッカー世界王者に勝てるロボットチームを作る」という目標のもと、AIやロボット工学の研究を推進する国際プロジェクトです。

「宗高イーゼス」は、今年1月に開催された「ロボカップジュニア九州ブロック大会」での優勝を皮切りに、3月に行われた「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2025 名古屋全国大会」のサッカーリーグ・ライトウェイト部門で見事優勝。国内を制し、3年連続9回目の世界大会出場の切符を手に入れました。

今回の訪問では、生徒たちがこれまでの取り組みや大会エピソードなどを報告し、世界大会への意気込みや今後の目標を語ります。

また、「宗高イーゼス」は、円安と物価高騰で、準備している遠征費だけでは賅いきれない状況にあることから、多くの方に支援を求めるクラウドファンディングを立ち上げました。

世界を目指して挑戦を続ける高校生たちの夢を、ご支援ください。

【表敬訪問 概要】

日時： 5月30日（金）14:30 頃～（定例記者発表後）

場所： 宗像市役所202会議室

参加者： 福岡県立宗像高等学校 校長 眞弓 豊企（まゆみ とよき）氏

電気物理部（「宗高イーゼス」）藤田 海（ふじた うみ）、木村 真生喜（きむら まいき）

栗崎 結大（くりさき ゆうた）、末広 昊暉（すえひろ こうき）

顧問1名、同窓会長 江口 友弘（えぐち ともひろ）氏

宗像市長 伊豆 美沙子



《宗高イーゼス》

※表敬訪問後に市役所正面玄関前にて激励のセレモニーを行います

■ロボカップ 2025 サルヴァドール（ブラジル）世界大会

日程： 7月16日（水）～7月20日（日）

場所： サルヴァドール・コンベンションセンター

■クラウドファンディング（福岡・宗像から世界へ！高校生ロボットチームが世界大会優勝を目指す挑戦）

目標額： 1,000,000円 期限： 8月31日（日）まで



《クラウドファンディングの詳細はコチラ》

【問い合わせ先】

宗像市文化スポーツ課 担当：井上・高尾 TEL:0940-36-1540

宗像高校電気物理部ロボカップ世界大会出場に向けたクラウドファンディングのお願い

私たちMunako-Aegis (宗高イーゼス)は4人のメンバーからなるロボカップジュニアのサッカーチームです。私たちのうち3名は中学時代までロボットの製作やプログラミングの経験がほとんどありませんでしたが、「自分たちの手で何かを作り上げたい」という強い思いから、世界大会にも出場していることで有名な宗像高校の電気物理部に入部しました。

宗像高校では、恵まれた環境と先輩や同級生の仲間たちに支えられ、コツコツと努力を重ねた結果、1年目から全国大会に出場することができました。しかし、思うようにロボットは動かず、悔しさが残る結果となりました。その経験から「次こそは」と決意し、世界大会に出場した先輩チームから技術を学びました。改良を重ねたロボットで迎えた2年目の全国大会では参加した48チーム中、最多得点と最少失点で全勝優勝を達成することができました。

そして、私たちの挑戦はその先へと続いていきます。次の目標は、世界大会で優勝できる最強のサッカーロボットを作り上げ、世界一の称号を手にする事です。しかし、この挑戦は、私たちだけの力では達成できません。応援してくださる皆さんと一緒に、世界一という大きな夢に向かって全力で挑んでいきたいと思っています。どうか、私たちの夢に力を貸してください。

現在、下記のサイトでクラウドファンディングでの支援を募っています。
ご協力をお願いいたします。

<https://yellz.jp/detail/400034/project/582/>



チーム名:Munako-Aegis (宗高イーゼス)
ロボカップ世界大会出場選手
3年 藤田 海 (ふじた うみ)
3年 木村 真生喜 (きむら まいき)
3年 栗崎 結大 (くりさき ゆうた)
3年 末広 昊暉 (すえひろ こうき)